

メキシコ金融政策（2021年11月）

4会合連続で0.25%ポイントの利上げ

2021年11月12日

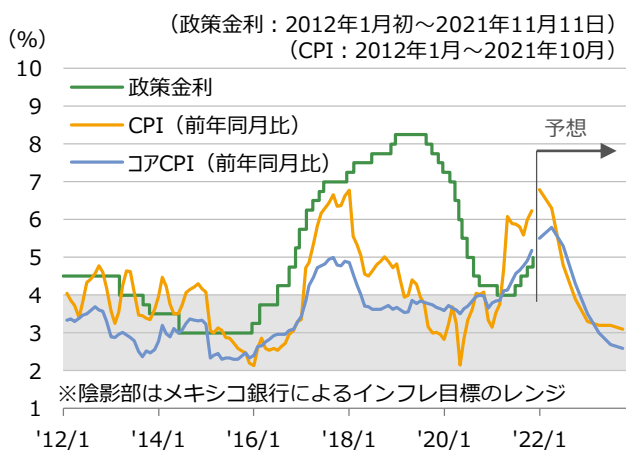
インフレへの警戒感が一段と強まり、今後も利上げ継続の見込み

メキシコ銀行（中央銀行）は11月11日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を4.75%から5.00%に引き上げることを決定しました。4会合連続の利上げです。また前回と同じく、政策委員5名の内、エスキベル副総裁のみが据え置きを主張し、残り4名が利上げを支持しました。

声明文では、前回会合時点よりインフレに対する警戒感が強まっている様子がうかがえます。まず、向こう1年程度を中心にCPI（消費者物価指数）の予想値を上方修正しています。また、インフレ率を上振れさせている要因は一時的なものと思込まれるが、それは「幅広い品目」に「かなりの大きさ」の影響を与えており、またその影響がどこまで拡大し得るかは「分からない」とも述べています。こうした状況が今後の価格形成プロセスやインフレ期待に甚大なリスクをもたらすことを考慮し、インフレ率を目標レンジの中心である3%に取れんさせるためには金融政策を引き締める必要があると、利上げ決定に至った背景を説明しています。

インフレ率の見通しに対する上振れリスクの大きさや沈静化に向けた時間軸の不確実性を考慮すれば、次回会合でも利上げが決定される可能性が高そうです。今回は一部に0.50%ポイントの利上げを予想する市場参加者がいたため、発表後にメキシコ・ペソは小幅に下落しましたが、今後もメキシコ銀行がインフレ抑制に向けて利上げを継続する可能性が高いことはメキシコ・ペソの下支え要因になると期待されます。

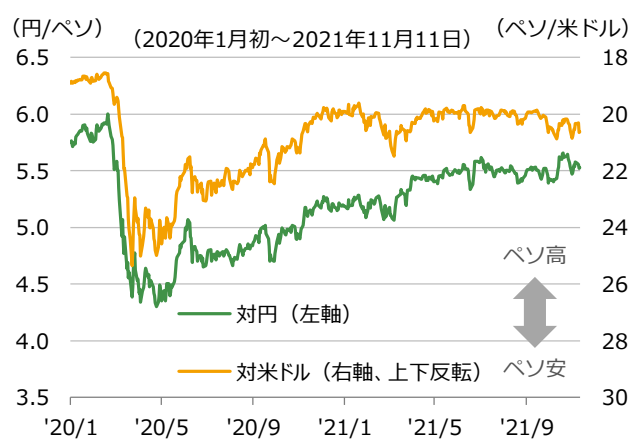
メキシコの政策金利とCPI



※CPIの予想は2021年10-12月期～2023年7-9期
（2021年11月時点のメキシコ銀行による予想）

（出所）メキシコ銀行、ブルームバーグ

メキシコ・ペソの対円・対米ドルレート



（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。